

令和3年度

高森町一般会計補正予算（第14号）
概要書

地籍調査事業

●令和4年度に実施予定としていた調査を、前倒して実施します。

【現状と課題、事業の目的】

- ・昭和54年から継続して約40年に渡り国土調査事業を遂行してきた結果、実施後の現地調査ベースで約94.5%の進捗状況であり、今後7～8年ほどでの完了を見込んでいる。

【対策、事業内容】

- ・早期完了を目指し、大字永野原の21字1.36Km²を現地調査予定としている。

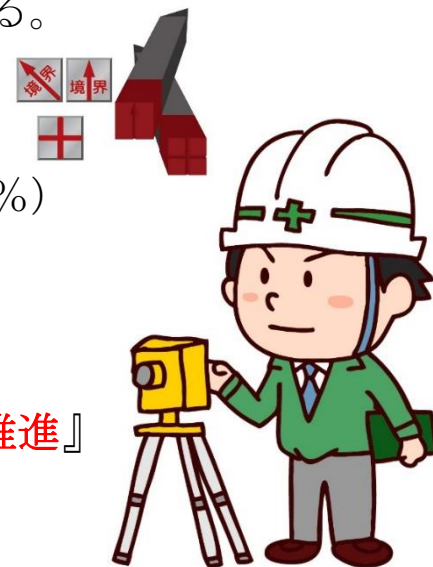
【事業費】

- ・「地籍調査事業補助金」を活用。（補助率75%）
+町負担分に対し、特別交付税措置として80%算入。（町の実質負担5%）

【今回予算化する理由】

※国の経済対策（補正予算第3号）において、
「地域における防災・減災、国土強靱化の推進」がメニュー化され、
うち『**迅速な災害復旧・復興、社会資本整備の基盤となる地籍調査の推進**』
が組み込まれているため。

⇒例年どおり当初予算で計上する場合よりも、採択率が上がる。



事業費	補助額	一般財源	交付税措置	実質負担
8,430万円	6,311万円	2,119万円	1,683万円	436万円